

解禁日：3月10日(木) 知事記者会見発表後



令和4年3月9日  
知事戦略部  
戦略企画課 総合計画・EBPM推進室  
電話：027-226-2405 内線：2405

## 群馬県幸福度レポート（令和3年度）を作成しました

「新・群馬県総合計画（ビジョン）」では、2040年に目指す姿を「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、全ての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会」としており、「幸福」がキーワードとなっています。

このたび、県民の幸福度向上に向けて、初めて幸福度の指標化を試み、「幸福度レポート」として作成しました。このレポートでは、群馬県が目指す社会の幸福について、県民の皆様にお伝えするとともに、県民幸福度の現状を「見える化」し、県の施策との関連性の分析や、今後の取組の方向性について記載をしています。

### 1 名称

群馬県幸福度レポート（令和3年度）

### 2 概要

別紙のとおり

### 3 公表日

令和4年3月10日（木）

### 4 公表方法

「新・群馬県総合計画ポータルサイト」に掲載



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 1 概要

- ・県が目指す幸福度の向上に向けて、県民幸福度の現状を「見える化」し、広く県民に周知
- ・併せて、県の施策との関連性を分析し、今後の施策への活用を図る
- ・今回初めて作成したが、今後は毎年度継続的に作成し、県民幸福度の変化や施策への活用状況等を把握

## 2 構成（4部構成）

- 第1部 **群馬県が目指す幸福度の向上**
  - ・新・群馬県総合計画（ビジョン）において示した、群馬県が目指す幸福度の向上について説明
- 第2部 **この2年間における県民幸福度向上に向けた取組**
- 第3部 **県民幸福度の現状と分析**
  - ・群馬県が新たに設定した幸福度指標化（見える化）に関する考え方
  - ・「県民幸福度アンケート」調査結果（R2年度実施）から把握した主観的幸福度の現状
  - ・新・群馬県総合計画で掲げる19の政策分野別に、アンケートによる主観的指標（施策実感）と、統計等による客観的指標とを併せて分析し、今後の県の取組方針について説明
- 第4部 **データ編**



## 3 特徴

- ▶客観的指標について次の点を考慮
  - ・3つの幸福「一人ひとりの幸福」「社会全体の幸福」「将来世代の幸福」
  - ・新・群馬県総合計画のロードマップに掲げるKPI
  - ・地方創生SDGsローカル指標
  - ・多くの指標を採用（171指標）
- ▶女性活躍の視点から、アンケート結果を分析

## 【参考】県民幸福度アンケート結果の概要（第3部から抜粋）

### 1 調査概要

実施：令和2年12月

対象：県内在住満18歳以上3,300人（回収：1,697人(51.4%)）

### 2 主な調査項目

幸福感、満足感、幸福感を重視する事項、群馬県に対する気持ち、19政策分野ごとの施策実感

### 3 主な調査結果

#### (1) 幸福感

・幸せと感じている割合 67.0%

・重視する事項は年代で異なる（例：20代以下「自由な時間」、50代以上「健康状況」が比較的高い）

#### (2) 満足感

・男女差が大きい項目 ▶女性 30代「家族関係」40代「健康状況」40代以上「友人関係」が高い

▶男性 30代以降「家計の状況」40代「精神的ゆとり」が低い

#### (3) 群馬県に対する気持ち

・今後の居留意欲（住み続けたい） 75.3%